

美ら島未来活性化ワークショップを開催

～事業承継支援～



【財務部】

NO.1



▲県内地域金融機関など(琉球銀行、沖縄銀行、沖縄海邦銀行、コザ信用金庫、沖縄県信用保証協会)及び当局(財務部及び経済産業部)の若手職員が参加(計27名)

「美ら島未来活性化ワークショップ」の名称は、沖縄総合事務局のキャッチコピー「美ら島の未来を拓く 沖縄総合事務局」と、沖縄の企業・経済の活性化策などについて「参加型で学び、話し合うメソッドとしてのワークショップ」を掛け合わせて表現しました。

【基調講演】

沖縄県事業引継ぎ支援センター
統括責任者補佐 萩堂聡久氏

テーマ

沖縄の事業承継支援に関する
現状と課題

株式会社地域経済活性化支援機構
営業推進室長 増田吉宏氏

テーマ

REVIC業務を活用した
事業承継支援事例及び
地域金融機関の取組みのあり方等



▲グループ対話

の二人の講師と、沖縄県よろず支援拠点コーディネーターの大城剛氏、沖縄県中小企業再生協議会統括責任者補佐の長尾浩平氏がグループマスターとな

6月28日、当局において「第1回 美ら島未来活性化ワークショップ」を開催しました。同ワークショップは、山田財務部長の主催者挨拶に続き、有識者の2名から事業承継支援をテーマとする基調講演があり、その後、金融機関などと当局の若手職員間でグループ対話を行いました。

グループ対話では、基調講演の二人の講師と、沖縄県よろず支援拠点コーディネーターの大城剛氏、沖縄県中小企業再生協議会統括責任者補佐の長尾浩平氏がグループマスターとな



▲山田財務部長挨拶



最後は、参加者全員が本ワークショップに参加した感想を発表しました。参加者からは、「沖縄県の事業承継の課題が差し迫った課題であることが認識できた」といった事業承継問題についての意見や、「一番の収穫は関係機関が何か所に集まって討議をすることが刺激的」、「こういった形で同世代の別の機関の方と意見交換ができてよかった」、「今後も関係者としてしっかりと連携して取り組んでいきたい」といった意見が聞かれました。また、グループ対話の分科会

では、沖縄県内企業の後継者不在率が断トツのワースト1となっている沖縄特有の原因、その対策について、基調講演の資料及び那覇市の事業承継に関する調査結果をもとに、意見交換を実施しました。

沖縄の企業や経済が持続的に成長していくためには、沖縄県が抱える全国一高い後継者不在率などの課題を地域の関係者自身が連携・協力し、解決していくことが重要となっています。同ワークショップでは、今後も企業・経済の持続的成長を達成するため、中長期的な課題を、対話を通じて気付き・発見し、あるいは個人・組織間の連携力を活かし調査研究を行い、それぞれの組織での実践や戦略的提言を行うなどの取組みに繋がってまいります。



▲分科会

財務部金融監督課
098-866-10095